

付録2 MS10パラメータファイル

- ・MS10パラメータファイル(fms000.ini)の内容です。(例)

```
MS10 パラメータ定義ファイル
定義仕様
・行単位で定義します。
・コメント行 ';'
・セクション
VERSION      Parameter File Version
SCSI          SCSI Device Driver
SCAN          MS160X Scan Window Parameter Define
PAPER         用紙サイズ定義
SEARCH        CU10 Retrieval Parameter Define
ii:d...d      i=項目番号(2桁の数値)
               d=データ値(10桁以内の10進数値)
```

[PARMFILE]

TITLE=標準パラメータ (A4)

[VERSION]

```
バージョン情報を定義します
VER=1
```

[SYSTEM]

```
接続されているシステムを定義します
0=AS10, CU10
1=CU10
2=検索装置なし
SYSTEM=2
```

[PMFILE]

```
パラメータファイルに関する情報定義します
前回使用したパラメータファイル名です。
PMDIR=d:\FMS10
PMFNAME=fms001.ini
ERFNAME=fms10err.msg
```

[IMGF]

```
画像ファイルに関する情報定義します
IMGFDIR=d:\FMS10\IMGS
```

[SCSI]

```
SCSIに関する情報を定義します
HOST=0
ID=5
```

[SCAN]

```
MS160X Scan Window Parameter
ヘッダファイル(msdif.h)のスキナウィンドーの構造体
SCANwindの要素を設定します。

; Winodw Identifier      (SCANwind wid)
; Windowは1つだけサポート、固定値=0
SCANwid=0
; Auto                  (SCANwind wauto)
; Sub Windowはサポートしない、固定値=0
SCANwauto=0
; X Resolution          (SCANwind dpix)
; Scan方向(X方向)の解像度を設定します。(dot/inch)
```

```

; 設定範囲: 60dpi - 1200dpi
; 設定方法:  $Xr=M/25 \times N \times R/100$  ;M:撮影倍率, N:出力装置[dpi], R:再現倍率[%]
SCANDPIX=200
; Y Resolution (SCANwind dpiy)
; Cross_Scan方向(Y方向)の解像度を設定します。(dot/inch)
; 設定範囲: 60dpi - 1200dpi
; 設定方法:  $Yr=M/25 \times N \times R/100$  ;M:撮影倍率, N:出力装置[dpi], R:再現倍率[%]
SCANDPIY=200
; Upper Left X (SCANwind x)
; 読み取り領域(window)のX方向の開始点を設定します。
; 読み取り原点から開始点までの画素数(1,200dpi換算)を設定します。
SCANX=236
; Upper Left Y (SCANwind y)
; 読み取り領域(window)のY方向の開始点を設定します。
; 読み取り原点から開始点までの画素数(1,200dpi換算)を設定します。
SCANY=0
; Width (SCANwind width)
; 読み取り領域(window)のX方向のサイズを設定します。
; 読み取り開始点から読み取り終了点までの画素数(1,200dpi換算)を設定します。
SCANwidth=13937
; Length (SCANwind height)
; 読み取り領域(window)のY方向のサイズを設定します。
; 読み取り開始点から読み取り終了点までの画素数(1,200dpi換算)を設定します。
SCANheight=19370

[SCANCAP]
; -----
; Brightness (SCANwind bright)
; 写真モードの場合、画像濃度(13段階)を設定します。
; 設定範囲: 001 - 255
; 2値モードでは0とする。
SCANbright=0
; Threshold (SCANwind thresh)
; 2値モードの場合、画像濃度補正值(41段階)を設定します。
; 設定範囲:001 - 255
; 写真モードでは0とする。
SCANthresh=130
; Image Composition (SCANwind mode)
; 画像読み取りモードを設定します。
; 0=2値(標準), 1=写真(diza)
SCANmode=0
; Bits per Pixel (SCANwind bit)
; 1=2値出力, 8=多値出力
SCANbit=1
; Halftone Pattern (SCANwind tone)
; サポートしない、固定値 =0
SCANtone=0
; RIF(Reverse Image Format) (SCANwind reverse)
; 画像データの出力極性を設定します。
; 2値の場合: 0=白==0, 1=黒==0, 多値の場合: 0=白==0, 1=黒==0
SCANreverse=0
; Padding Type (SCANwind padding)
; サポートしない、固定値 =0
SCANpadding=0
; Bit Ordering (SCANwind bitorder)
; 画像データの転送Bit_order(バイト内の画像データ格納方法)を設定します。
; 0=MSB first, 1=LSB first
SCANbitorder=0
; Compression Type (SCANwind compress)
; データ圧縮方法を設定します。
; 0=非圧縮, 1=MH圧縮, 3=MMR圧縮
SCANcompress=3
; Compression Argument (SCANwind mrk)
; サポートしない、固定値 =0
SCANmrk=0
; Film Type (SCANwind film)
; フィルムのネガ、ポジのタイプを設定します。
; 0=ネガフィルム, 1=ポジフィルム, 2=自動判定
SCANfilm=0
; Image Rotation (SCANwind rotate)

```

```

; 画像データの読み取り時の読み取り原点、スキャン方向を設定します。
; 投影スクリーンにたいして下記のようになります。
; 0=原点：左下、Xスキャン方向：下→上、Yスキャン方向：左→右
; 1=原点：右下、Xスキャン方向：右→左、Yスキャン方向：下→上
; 2=原点：右上、Xスキャン方向：上→下、Yスキャン方向：右→左
; 3=原点：左上、Xスキャン方向：左→右、Yスキャン方向：上→下
SCANrotate=0
; Frame Erasure (SCANwind erase)
; 画像データの読み取り時に画像の周囲の余白を自動的に切り捨てる機能を
; 設定します。
; 0=off, 1= on
SCANerase=0
; Skew Correct (SCANwind skew)
; 画像データを読み取る前に画像の傾きを自動的に補正する。
; 0=off, 1= on
SCANskew=0
; Image Format (SCANwind format)
; 画像データを転送するときのデータフォーマットを設定する。
; 0=FBI, 1= BMP (MS-WINDOWS BMP), 2= TIFF, 3= SUN Raster
; 1 - 3は未サポート
SCANformat=2
; Contrast (SCANwind contrast)
; サポートしない、固定値 =0
SCANcontrast=0
SCANae=1

```

[PAPER]

```

; -----
; 用紙サイズ定義
; 用紙番号によりスキャナのウィンドーサイズを設定します。
; ヘッダファイル (msdif.h) の用紙サイズの構造体
; Papertの要素を設定します

; 選択用紙番号
; この番号により、下記に定義された用紙が選択されます。
PAPERSIZE=5
; 用紙ウィンドーサイズ
; 用紙番号:X開始点[mm]:Y開始点[mm]:Xサイズ[mm]:Yサイズ[mm]
; :スキャン方向:表示方向
; PAPER5, PAPER6は将来のための予約
;
PAPER1=A 3 :0:4:418:296:0:0
PAPER2=A 4 :22:5:200:290:3:0
PAPER3=B 4 :22:20:360:250:0:0
PAPER4=B 5 :58:102:174:163:3:0
PAPER5=フリー:0:0:410:295:0:0
PAPER6=自動:78:30:20:295:3:0

```

[SEARCH]

```

; -----
; CU10 Retrieval Parameter
; ヘッダファイル (msdif.h) の検索パラメータの構造体
; SEARCHpmpの要素を設定します。

; Retrieval Level
; 検索レベルを設定します。
; 1=Level1, 2=Level2, 3= Level3
LEVEL=1
; B1pNp
; ブリップマークの極性を設定します。
; 0=Nega, 1= Poji
BLPNP=0
; LB1p
; (L/M/S)B1pは該当サイズのブリップマークの使用の有無を設定します。
; 0=使用しない、 1= 使用する
LARGE=0
; LBch
; (L/M/S)Bchは該当サイズのブリップマークのチャンネルを設定します。

```

```

; 0=Achannel, 1= Bchannel
LBCH=0
; LBlpSizeMin
; (L/M/S)BlpSizeMinは該当サイズのブリップマークのサイズの最小値を設定します。
; 単位: 0.1mm, 設定範囲: 000 - 255
LSIZEMIN=0
; LBlpSizeMax
; (L/M/S)BlpSizeMaxは該当サイズのブリップマークのサイズの最大値を設定します。
; 単位: 0.1mm, 設定範囲: 000 - 255
LSIZEMAX=0
; MBlip
MEDIUM=0
; MBch
MBCH=0
; MBlpSizeMin
MSIZEMIN=0
; MBlpSizeMax
MSIZEMAX=0
; SBlip
SMALL=1
; SBch
SBCH=0
; SBlpSizeMin
SSIZEMIN=8
; SBlpSizeMax
SSIZEMAX=78
; Film Type
; 0=Simplex, 1=Duo
FILMTYPE=0
; Stop Position
; フィルムの停止位置の基準を設定します。
; 1=左端, 2=中央, 3=右端
STOPPOS1=2
; LIBon/off
; ブリップ間隔によりフィルムの終端検出を行なうかを設定する。
; 0=LIB off, 1= LIB on
LIBSW=1
; LIB
; ブリップ間隔によりフィルムの終端検出を行なう場合の条件を設定する。
; 0=ブリップ間隔75mm, 1=ブリップ間隔300mm
LIB=1
; OFFSET
; フィルムの停止位置の基準に対するオフセットを設定します。
; 単位: 0.025mm, 設定値: 0000 - 1200 (600=0mm, 0= -15mm, 1200= +15mm)
OFFSET=996
; CNT. MODE REG0
; CNT. MODE REG(0/1/2/3/4)は検索レベル2、3のカウントモードを設定します。
; 詳細は「C U I Oユーザーマニュアル」を参照。
CNTREG0=0
CNTREG1=0
CNTREG2=0
CNTREG3=0
CNTREG4=0

```

[ERROR]

```

; -----
; エラー情報を設定します
; LEVELは1から4までのレベルを設定します。
; 1 運用レベルのエラー
; 2 Windowシステムレベル
; 3 デバイスレベル
; 4 内部プログラムエラー
LEVEL=4

```

[DEBUG]

```

; -----
; デバッグ情報を設定します
; LEVELは0から9までのレベルを設定します。

```

; LEVEL=0のときにはデバッグ出力しません
; OUTPUTはログの出力先を指定します
; 1はデバッグ端末に出力します
; 2はファイルに出力します
; 3はデバッグ端末とファイルの両方に出力します
; (2または3のときLOGFNAMEが有効になります)
; FNAMEにはログファイル名をフルパス指定します

; U I 部用

UILEVEL=9

UIOUTPUT=1

UIFNAME=

; 制御部用

CTLLEVEL=9

CTLOUTPUT=1

CTLFNAME=d:¥FMS10